

伊ピアノメーカー社長来日

## 「個性的な音を武器に」

グランドピアノの製造で注目を集めるイタリアの新興メーカー、ファツィオリ社のパオロ・ファツィオリ社長＝写真＝が、日本市場の視察などで来日した。世界のピアノ市場の動向などについて聞いた。

同社は1981年設立。スタインウェイ(アメリカ、ドイツ)、ベーゼンドルファー(オーストリア)をはじめとする強豪がひしめく中、特徴的な音作りで知

られるようになった。年間生産数は120台ほどだが、新技術を積極的に取り入れ、透明で明るい響きを実現した。「ピアノ発祥の地イタリア唯一のメーカー」として、歌う楽器をめざしたい」という。

ピアノ市場では戦後、スタインウェイが安定した品質を背景に成長し、コンサート用グランドピアノの定番となっている。

「音楽の多彩な表現のために、様々なキャラクターを持った楽器があってもいい。ピアノ製造では過去100年間、大きな技術革新がなかったので可能性は大きい。市場は多様化を求めている」と語る。

日本ではファツィオリはまだ圧倒的少数派だが、だからこそユニークさをアピールできるという。「ヤマハやカワイなど有力メーカーにない個性的な音を武器に、日本のピアノ文化に貢献したい」

